

特集

日本犬



Focus 安全で安価な「飲む体温計」を開発

科学冒険隊 振り子で物理の法則を体験しよう

生き物たちの不思議な関係 ヌルデの遺伝子を操って虫こぶを形成 ヌルデシロアブラムシ

かはくレポート 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」に寄せて



「milsil(ミルシル)」について
「milsil(ミルシル)」の「mil(ミル)」は「見てみる」「聞いてみる」「やってみる」の「ミル」。そのような「ミル」から、新たな、そして豊かな「sil(シル=知る)」が得られるでしょう。この雑誌とともに、皆様が楽しい「ミルシル」体験をされることを願っています。

CONTENTS

- 3 【特集】日本犬 [全体監修] 菊水 健史 (麻布大学獣医学部教授)
- 4 日本犬を通して日本文化を振り返る
菊水 健史 (麻布大学獣医学部教授)
- 6 日本犬の成り立ちをゲノムから探る
寺井 洋平 (総合研究大学院大学統合進化科学研究センター准教授)
- 9 富山県小竹貝塚に埋葬された縄文犬
MAIBUN小竹貝塚研究プロジェクト
河西 健二 (富山県埋蔵文化財センター所長)
- 12 日本犬らしさを探る イヌの進化と「性格」
今野 晃嗣 (帝京科学大学生命環境学部講師)
- 15 日本犬の保存とハチ公の思い出
黒井 真器 (天然記念物柴犬保存会理事)
- 17 国立科学博物館にいる日本犬ハチ
北山 太樹 (国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ研究主幹)
- 18 Focus 科学者の探究心にせまる
安全で安価な「飲む体温計」を開発
—健康維持や医療に役立てる!—
吉田 慎哉 (芝浦工業大学工学部機械機能工学科准教授)
- 22 チャレンジ!! 科学冒険隊
#95 振り子で物理の法則を体験しよう
末谷 大道 (大分大学理工学部共創理工学科教授) 監修
- 26 生き物たちの不思議な関係 第6回
ヌルデの遺伝子を操って虫こぶを形成
ヌルデシロアブラムシ
平野 朋子 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授)
佐藤 雅彦 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授)
- 30 かはくレポート
特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」に寄せて
山菜・野菜を自然科学から考える
國府方 吾郎 (国立科学博物館植物研究部多様性解析・保全グループ研究主幹/
筑波実験植物園研究員)
- 34 次号予告/定期購読のお知らせ/編集後記



東京・渋谷駅前の忠犬ハチ公像
画像提供: PIXTA



表紙画像

「忠犬ハチ公」の名で知られる秋田犬・ハチの剥製が国立科学博物館の日本館2階北翼に常設展示されています(展示の経緯など詳細はp.17をご覧ください)。ハチの後ろには甲斐犬(クロ)、南極観測隊に同行したカラフト犬(ジロ)も並んでいます。今年(2023年)はハチ生誕100年の節目にあたり、ハチの生まれ故郷である秋田県大館市をはじめ、待ち合わせの目印としても有名なハチの銅像がある東京都渋谷区などでは、記念の催しも行われています。※表紙右下のハチのイラストは、国立科学博物館ミュージアムショップのグッズにも使用されています。
©国立科学博物館、2023 Power Design Inc.

特集 日本犬

[全体監修] 菊水 健史 (麻布大学獣医学部教授)

Q: 「日本犬」って、どんな犬?

各地で飼育されていた小型の獵犬(地犬)が起源のため、発祥の地は複数ある。

▲国の天然記念物「日本犬」6犬種の発祥の地
画像提供: 公益社団法人 日本犬保存会、秋田犬は公益社団法人 秋田犬保存会

A: 日本犬とは、日本在来の犬種の総称です。狭義には、国の天然記念物に指定されている犬種をさす場合があります。現存する天然記念物の日本犬は、図に示した6犬種(北海道犬、秋田犬、甲斐犬、柴犬、紀州犬、四国犬)です。新潟県の「越の犬」も指定を受けていましたが、純血種はすでに絶滅しています。秋田犬は大型犬、柴犬は小型犬、それ以外は中型犬とそれぞれ体格は異なりますが、立ち耳や巻き尾(差し尾)、三角形の目といった共通の特徴をもちます。かつては、全国各地に地犬とよばれる日本犬がいて、主に獵犬として日本人の暮らしに寄り添い、それぞれの土地で脈々と受け継がれていました。しかし、いまではその多くが姿を消しています。独自に保存されてきた犬たちを守ろうと、川上犬(長野県)や琉球犬(沖縄県)のように、都道府県の天然記念物に指定された地犬もいます。なお、川上犬と美濃柴犬、山陰柴犬は、国の天然記念物の柴犬に含まれます。また、広義には、狎や日本スピッツといった日本原産犬種も日本犬とよばれています。